

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労支援事業所 つみ木
住所	大阪府大阪市北区南森町2-1-20南森町エンシンビル6階
電話番号	06-6312-1888

事業所番号	2714101157
管理者名	宮松宗広
対象年度	令和2年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none">●活動場所：大阪市北区天神橋3-2-9川那辺ビル302号●実施日程：月曜～金曜 祝日、10時～17時（12時～13時休憩）●実施期間：平成30年12月～ ●人数：7名●作業内容：インターネット販売、受付、ミシン作業、アパレル商品加工など <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none">●地域連携活動のねらい <p>大阪の特産・地場産業として盛んである、繊維製品関連の軽作業請負実績により事業所の存在と活動について地域へ認識を高める働きかけとする。ミシン作業の経験と技能習得により、高齢化によって縫製従事者の不足が問題となっている繊維業に対し、障害者雇用による改善の可能性に着目。●地域にとってのメリット<p>大阪の地場産業のひとつである繊維業の抱える、従事者減少・高齢化の現状に対し労働力と安定した品質維持の維持が図られる。障害者事業所によるサポートがあれば、障害者の作業と技能は充分一般に通用することの地域社会での認知向上。●対象者にとってのメリット<p>自身の技能向上だけでなく、日用品を形にし実際に使われ日常に役立てられていることを直接実感出来る事で、社会の一員である自信に繋がる。縫製の経験により、担い手不足の縫製業界での一般就労に有利。一般就労では多くの分野で一定の技能が必須とされるPC操作の経験により、求職を有利に運べる。</p><p><成果></p><ul style="list-style-type: none">●実施した結果<p>ミシン作業：現時点で、基礎レベルの製品を安定した品質で納品出来るようになり、次ステップとして主力商品の縫製の検討を取引先へ打診。</p><p>アパレル加工：物流・倉庫業との連携を経験。梱包や数量管理・ピッキングまで委託されるようになった。</p><p>PC業務：ネット販売、70件以上を達成。</p>●得られた成果<p>成果物が実際どのように活用されているかを知ることで、障害者自身の役立つ実感とやりがいとともに、成果物に関わっている物流や販売・営業等様々な職の人達が居ることをこの職種を希望する障害者は多いため、一般就労に向けて参考となった。「手に職をつける」という具体的な取り組みになるミシン作業は、就労意識と意欲の向上に大きく影響している。●課題点<p>業務の多くが開始から完成まで一人での一貫作業となる為、利用者個人の技能や障害特性・身体的要因等の影響が出やすく、能力の高い利用者さんへ負担が集中することがあった（対策済み）。ミシン操作は感覚で行う点が多く、従事が困難な利用者も居る。また、職員が直接付いて行う技術指導や練習時間が現段階では充分に取れていないため、今後より多くの利用者の参加を目指す上で改善は必須である。</p></p></p></p>	<p><活動の様子></p>   
--	--

連携先の企業等の意見または評価

<p><連携先企業意見・評価></p> <p>障害者の皆さんが、毎日地道な作業を根気よく丁寧に仕上げているのを見て障害者雇用の在り方について考える機会としたい。</p> <p><連携先企業 結果意見・評価></p> <p>製品の精度・数量とも安定しており、物品の管理も適切で取引先からの信頼も得られている。実際に一般企業へ就職を果たした方もおられ、取り組みが形になることが私達もうれしく思う。地場産業とのマッチに大きな期待が見込まれる、ミシン縫製作業の拡大についてはまだ成果量としては見込みがつかず段階ではなく、未知数の部分である。</p> <p><連携先企業 今後の連携強化課題></p> <p>業務受注の調整や作業工程の管理などを、無理のない形で進めて今後よりミシン縫製作業が活発になることを願う。縫製作業をより多くの方に経験してもらい、安定した生産の軌道に乗る見通しを付けられるよう意見交換等をより密に行いたい。</p> <p>感染拡大対策が続くなか、消費の大幅な落ち込みで作業受注も減っており提供出来る業務が充分出来ないこともあるため、相互にアイデアを持ち寄って模索をしていきたい。</p>			
連携先企業名	株式会社T&J	担当者名	白石 賢一

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	就労支援事業所 つみ木
住所	大阪府大阪市北区南森町2丁目1番20号南森町エンシンビル6階
電話番号	06-6312-1888

事業所番号	2714101157
管理者名	宮松宗広
対象年度	令和2年度

(I) 労働時間		55	点
①1日の平均労働時間が7時間以上			
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満			
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点			

(II) 生産活動		5	点
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上			
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点			

(III) 多様な働き方 (※)		35	点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
②利用者を職員として登用する制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
小計(注1)		8	点

(IV) 支援力向上 (※)		15	点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会			
参加した職員が1人以上半数未満であった			
参加した職員が半数以上であった			
②研修、学会等又は学会誌等において発表			
1回の場合			
2回以上の場合			
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ			
いずれか一方のみの取組を行っている	○		
いずれの取組も行って	○		
④販路拡大の商談会等への参加			
1回の場合			
2回以上の場合			
◎ ⑤職員の人事評価制度			
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○		
⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している			
⑦第三者評価			
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計(注2)		5	点

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動		10	点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○		
1事例以上ある場合:10点			

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	55
生産活動	5点		20点		25点		40点		5
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		15
地域連携活動	0点				10点				10

合計		120	点	/ 200点
----	--	-----	---	--------

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和2年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	31,664	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	6,285	人	利用者の1日の平均労働時間数	5	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々年度（令和元年度）

生産活動収入から経費を除いた額	-829,653	円	利用者に支払った賃金総額	32,241,572	円	収支	▲ 33,071,225	円
-----------------	----------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

前年度（令和2年度）

生産活動収入から経費を除いた額	-971,261	円	利用者に支払った賃金総額	30,263,266	円	収支	▲ 31,234,527	円
-----------------	----------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和2年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

① 免許・資格取得、検定の受検勤奨に関する制度

◎ 免許・資格取得、検定の受検勤奨に関する制度を活用した人数	0	名
※ 取得を進めた免許等：		
制度の活用内容：		

② 利用者を職員として登録する制度

◎ 職員として登録した人数	0	名
◎ うち1名は雇用継続期間が6月に達している	<input type="checkbox"/>	
◎ うち1名は前年度末日まで雇用継続している	<input type="checkbox"/>	
※ 登録した日	●年 ●月 ●日	
勤務形態：	○○○	
就業時間：	●時●分～●時●分	
職務内容：	○○○	

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎ 在宅勤務を行った人数	2	名
※ 実施した期間：	4月1日～3月31日	
就業時間（在宅勤務）：	10時00分～17時00分	
職務内容：	軽作業、パソコン作業	

④ フレックスタイム制に係る労働条件

◎ フレックスタイム制を活用した人数	0	名
※ 実施した期間：	●月●日～●月●日	
就業時間（コアタイム）：	●時●分～●時●分	
職務内容：	○○○	

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎ 短時間勤務に従事した人数	0	名
※ 実施した期間：	●月●日～●月●日	
就業時間（短時間）：	●時●分～●時●分	
職務内容：	○○○	

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎ 時差出勤制度を活用した人数	2	名
※ 実施した期間：	4月1日～3月31日	
就業時間（早出の場合）：	●時●分～●時●分	
就業時間（遅出の場合）：	13時00分～17時00分	
職務内容：	軽作業、パソコン	

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎ 時間単位取得を活用した人数	2	名
◎ 計画的付与制度を活用した人数	1	名
※ 取得した制度	有給休暇の時間単位取得 <input checked="" type="checkbox"/>	
計画的付与制度	<input checked="" type="checkbox"/>	
取得した期間：	12月11日、16日、18日	
取得日数・時間	3日 18時間	

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎ 傷病休暇等を取得した人数	1	名
※ 取得した内容：	休職	
取得した期間：	9月1日～12月31日	
就業時間：	10時00分～15時00分	
職務内容：	軽作業	

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（●年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎ 研修計画を策定している	<input type="checkbox"/>	
◎ 研修実施回数	外部 ●回 / 内部 ●回	
対象職員数	●人	
うち研修受講者数	●人	
※ 研修名	○○○	
研修講師	○○○	
実施日・受講者数	●月●日 ●人	

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎ 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	●回	
※ 研修、学会等名	○○○	
実施日	●月●日	
※ 学会誌等名	○○○	
掲載日	●月●日	
発表テーマ	○○○	

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している	<input type="checkbox"/>	
◎ 他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input type="checkbox"/>	
※ 先進的事業者名	○○○	
実施日 / 参加者数	●月●日 ●人	
※ 他の事業所名	○○○	
実施日 / 参加者数	●月●日 ●人	

④ 販路拡大の商談会等への参加

◎ 販路拡大の商談会等への参加回数	●回	
※ 商談会等名	○○○	
主催者名	○○○	
日時	●月●日	
内容	○○○	

⑤ 職員の人事評価制度

◎ 職員の人事評価制度を整備している	<input type="checkbox"/>	
◎ 当該人事評価制度を周知している	<input type="checkbox"/>	
人事評価制度の制定日	●年●月●日	
人事評価制度の対象職員数	●名	
うち昇給・昇格を行った者	●名	
当該人事評価制度の周知方法	○○○	

⑥ ピアサポーターの配置

◎ ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>	
◎ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>	
※ 配置期間	●月●日～●月●日	
就業時間	○○○	
職務内容	○○○	

⑦ 第三者評価

◎ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>	
※ 評価を受けた日	●月●日	
第三者評価機関	○○○	

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ 国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証を受けている	<input type="checkbox"/>	
※ 認証を受けた日	●月●日	
規格等の内容	○○○	

(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。必要に応じて行を増やす等、